



設計室で図面を見る、入社4年目の森岡さん(左)、川西さん(中)、福島さん(右)。同期同士、部署を超えて仲よく切磋琢磨しながら仕事に励んでいる



新人を優しく受け入れ、親身にサポートする社風。

次に案内してもらったのが、プレカット設計課。プレカットとは住宅建築に使われる構造材の接合部分を切削加工するもので、ここでは建築図面をもとに必要な構造材を算出し、切削の形状などを設計する。設計データが工場の切削機に送られ、自動で加工されるという仕組みだ。この課に所属する西山颯太さんは、武田さんと同期の2年目社員。西山さんは「入社して、先輩たちの技術レベルの高さに驚きました。今でもわからないことは多いですが、何でも遠慮なく質問して、助けてもらっています」と話す。また設計課は、以前は業務量の多さに悩まされていたが、部署を挙げた業務改革が進み、今では大幅に環境が改善されたという。入社4年目の川西海斗さんは「働く環境は私が入社して

近年の住宅に増えている、金物接合工法の加工にもいち早く対応。柱の一本一本に手作業で金物を取り付けて納品する。間違いがないか入念にチェックすることも重要だ



プレカット加工はコンピューターでほぼ自動化されているが、精度を保つためには現場での厳しい品質管理が不可欠。オペレーターが常に機械や製品の様子に目を光らせる



さんもく工業株式会社 に企業訪問してきました！

**長い歴史と安定した経営基盤、
温かな人間関係が魅力。**

私の頼れる先輩&上司自慢！



明るいキャラで誰からも愛される先輩

プレカット製造部 宮西麻世さん

社内の若手みんなの「頼れるお兄ちゃん」！いつもニコニコして、誰にでもフレンドリーに話しかけてくれる先輩です。工場内でも、率先して周りの雰囲気を盛り上げるムードメーカー。先輩が困っているときには、優しく相談に乗ってくれます。



近くで見守ってくれるお姉さんのような先輩

木製品部 武田美穂さん

20年の社歴があるベテランの先輩ですが、いつも優しく接してくださり、入社以来何があるたびに助けていただいています。知識豊富で何を尋ねてもすぐ教えてくれますし、私がミスしたときには、次に同じ失敗をしないよう一緒に原因を考えてくれます。



こうぎょう
さんもく工業株式会社

岡山市南区海岸通2-6-3
Tel.086-262-0137
http://www.sanmoku.co.jp



この方にも聞いてみた！



総務部 入江英樹さん

創業以来88年、木の加工技術にこだわり事業を続ける会社です。加圧注入処理による木材防腐加工と、住宅構造材のプレカット加工が現在の主な事業柱。どちらも一般の方の目に触れることの少ない業務ですが、緑の下目持ちとして、木のぬくもりを感じる豊かな環境づくりに貢献しています。



休憩室で談笑する、入社2年目の武田さんと西山さん。それぞれの部署で優しい先輩たちに囲まれ、たくさん知識を吸収して成長している

私がナビゲートします！

裏方で周囲をサポートする役割が自分には合っていると思い、事務職を志望して入社。旅行が好きで、学生時代はユースホステルクラブに所属していました。

入社2年目 業務部 武田真美さん



木材の防腐加工とプレカット加工を主な事業とする「さんもく工業」。1934年に木製電柱と鉄道枕木の防腐処理加工・製造専門会社として創業し、戦前から高度経済成長期にかけての国内インフラ構築に貢献してきた。現在は取り扱い品目を住宅土台材や公園施設用木材に移し、環境に配慮した防腐処理加工を行っている。また1989年には岡山県内で初めて、住宅用構造材のプレカット事業に参入。県内でもトップレベルの精度で設計から切削加工、金物取り付けまで一貫して手掛けることができ、多数の住宅メーカーから信頼を寄せられている。

今回この会社についてナビゲートしてくれたのは、入社2年目の業務部、武田真美さん。地元企業の事務職を志望して就職活動し、こちらに出合ったという。「業務内容については正直あまりなじみがなかったのですが、長い歴史があり、長く勤めている社員さんも多いとのこと、信頼できました。見学に来てみると、社内の雰囲気がとてもよいと感じ、ぜひ入社したいと思いました」と話す。武田さんは主に来客の受付と、仕入れのデータ入力を担当。「最初はお客さまにどう対応していいかわからず緊張していましたが、周りの先輩たちがその都度優しく手助けしてくださいました。歳の近い先輩が、離れた席から気さくに話しかけて来てくれたのもとてもうれしかったです」とほほ笑む。

**県内初のプレカット工場と、
県内唯一の木材防腐加工工場。**